77. 環境保護章

	考査課目	考査方法 合格年月日	認印
(1)	環境保護の意義を知ること。	口／記 ．　．	
(2)	地域における大気・水・土壌のいずれかの汚れに関する問題を認識し、それが地球環境とどのように関わっているかを、具体例を示し説明すること。	報 ．　．	
(3)	日本国内の絶滅危惧種を、動物・植物についてそれぞれ２種類以上挙げ、その現状について説明できること。 　また、地域の自然環境に対し、人間の活動がどのように影響しているか調べ、例を挙げて説明できること。	報 ．　．	
(4)	地球環境に影響を与える有害物質を３種類以上挙げ、その危険性を減らすために、個人、グループまたは地域でできることについての提案をする。 　現在具体的に取り組んでいる場合は、その内容（計画･実施･現時点での評価、等）を提示すること。	計／報 ．　．	
(5)	国立公園などの自然や環境についての知識を深めることができる施設を訪問し、そこで学んだ内容についてレポートを提出する。 　特に、その周囲の環境や生態系に影響を及ぼしている事項について具体的に示すこと。	録 ．　．	
(6)	「持続可能な開発」について、次の点に留意し、内容を説明できること。 ・国際的にどのような取り組みが行われてきたか ・日本は現在までどのような取り組みを行ってきたか	報 ．　．	
(7)	環境保護活動に取り組むための計画を立て、実施し、その結果を隊長に報告し承認を受けること。	計 ．　．	

考査課目の全てに合格したことを証明します。

年　　月　　日 技能章考査員　　印

78. 報　道　章

	考査課目	考査方法 合格年月日	認印
(1)	ジャーナリストの電気や自伝、評伝などを一冊読み、ジャーナリストの役割や社会的使命について考えを示すこと。	．　．	
(2)	地域の新聞社・支局や放送局を見学し、その役割について理解する。ジャーナリストの専門領域にどのようなものがあるか知ること。	．　．	
(3)	日本新聞協会の新聞倫理綱領を読み、メディアの役割とジャーナリストの独立性について説明できること。	．　．	
(4)	メディアで働く人に面会し、ジャーナリストやメディア人として働く喜びや使命感などについて話を聞き、400 字程度の記事にまとめて提出すること。	．　．	
(5)	地区や団の情報誌の企画を担当し、最低でもその発行に関わるか、定期刊行物がある場合は、編集や記事の執筆で中心的な役割を担った経験があること。	．　．	
(6)	県連盟や地区の広報責任者に協力して、スカウト活動やイベントなどを地域のメディアに売り込むか、ニュースリリースを作り、広報責任者に提案すること。	．　．	
(7)	県庁や市役所、企業の広報担当者を訪ね、仕事の概要とメディアとの関係などについて話を聞き、内容を報告すること（可能ならば記者クラブなどの見学を行うこと）。	．　．	
(8)	行政や企業、NPOの出したニュースリリースを一つ選び、どのような報道であったのか調べ報告すること。	．　．	

考査課目の全てに合格したことを証明します。

年　　月　　日 技能章考査員　　印

79. 薬　事　章

	考査課目	考査方法 合格年月日	認印
(1)	薬の起源や歴史（生薬、抽出成分、化合物などの創薬の歴史）について調べ報告すること。	報 ．　．	
(2)	次の薬の剤形について、それぞれの特徴（用途や使用方法など）が説明できること。 ア　錠剤　イ　カプセル剤　ウ　散剤 エ　液剤　オ　トローチ剤　カ　塗布薬 キ　貼付剤　ク　点眼剤　ケ　点鼻剤 コ　点耳剤　サ　吸入剤　シ　坐剤 ス　湿布剤	口／記 ．　．	
(3)	次の用語について例をあげて説明できること。 ア　主作用、副作用 イ　相互作用（薬と薬、薬と飲食物） ウ　薬物アレルギー　エ　用法、用量	口／記 ．　．	
(4)	次の用語について説明できること。 ア　OTC医薬品　イ　要指導医薬品 ウ　一般用医薬品（第一、二、三類） エ　医薬部外品	口／記 ．　．	
(5)	薬物乱用防止について研究し、報告すること。	報 ．　．	
(6)	症状にあった薬を選び、その理由を説明できること。	口／記 ．　．	
(7)	医療品、医薬品が市場に出るまで（治療に使われるまで）の過程が説明できること。	口／記 ．　．	
(8)	過去に起きた薬害について1例をあげて説明できること。	報 ．　．	
(9)	薬用に用いることができる薬草になるものを列挙し、その内の1つについて実演すること。	口→実 ．　．	

考査課目の全てに合格したことを証明します。

年　　月　　日 技能章考査員　　印

80. 防　災　章

	考査課目	考査方法 合格年月日	認印
(1)	地震発生のメカニズムや日本で地震が多く発生する理由について説明できること。	口／記 ．　．	
(2)	自宅や外出時における地震発生の際に適切な対応行動が説明できること。	口／記 ．　．	
(3)	集中豪雨、ゲリラ豪雨（短時間集中豪雨）、土砂災害などの風水害発生時の初動について説明し、行動できること。	口→実 ．　．	
(4)	自宅や学校、団本部などの減災対策が説明でき、準備すること。	口→実 ．　．	
(5)	避難所運営の意義、必要性を知り、開設のプロセスを説明できること。	口／記 ．　．	
(6)	自分が住む市町村の防災計画を調べ、説明できること。	報 ．　．	
(7)	自治会、町会などの地域、行政が主催する防災訓練、避難訓練や初期消火訓練などに参加し、感想などをまとめること。	実→報 ．　．	
(8)	自宅および活動場所から近隣の避難場所を探し、ルートを示すこと。	録 ．　．	
(9)	身の周りの物を使って防災グッズを5点以上作り、提出すること。	作 ．　．	
(10)	隊もしくは団で防災に関わる訓練プログラムを企画・計画し、隊長の承認のもとで実施すること。	計→実 ．　．	

考査課目の全てに合格したことを証明します。

年　　月　　日 技能章考査員　　印